漢文視写

名前（　　）

【春望】

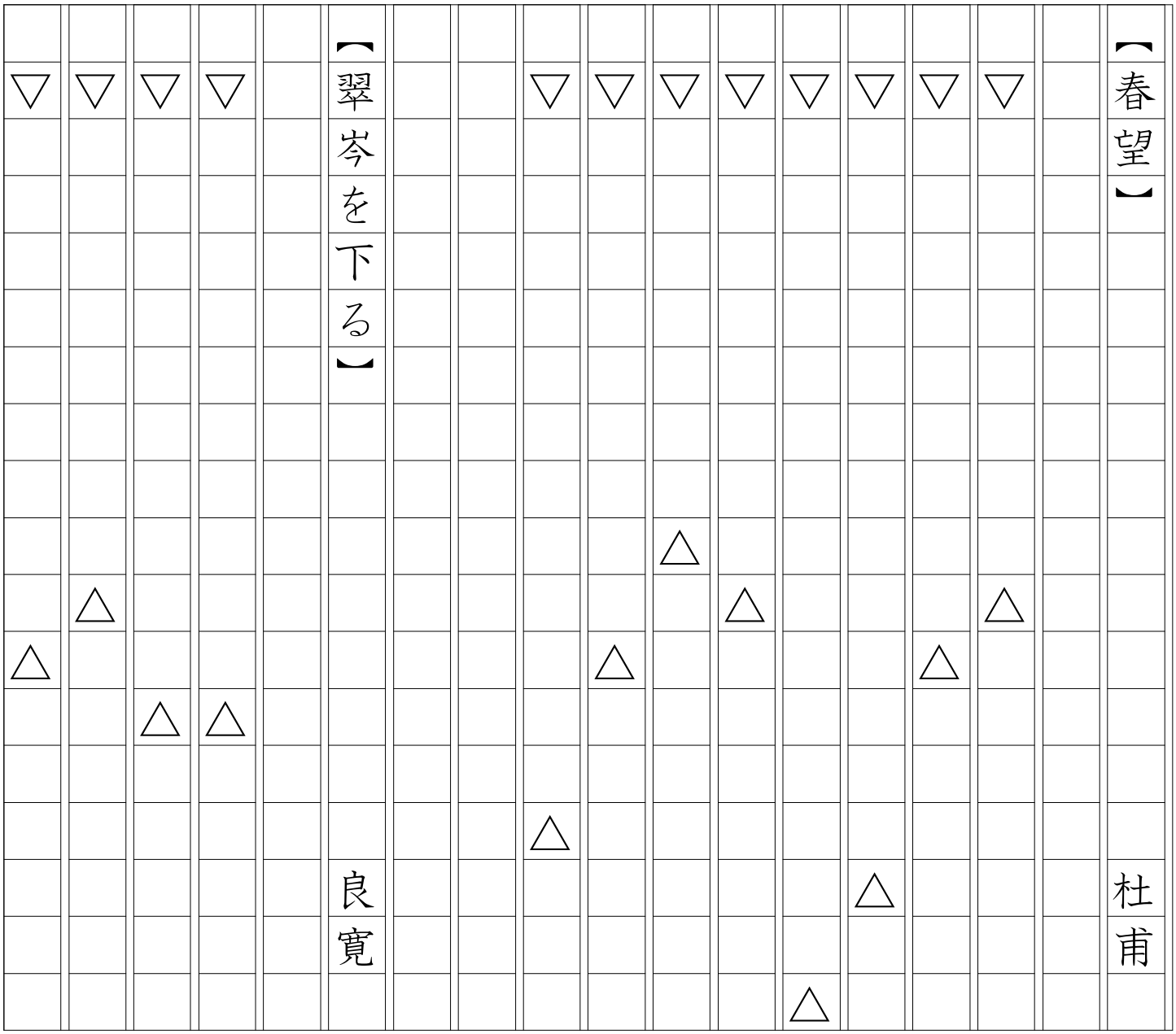
杜甫

国破れて山河在り
城春にして草木深し
時に感じては花にも涙を濺ぎ
別れを恨んでは鳥にも心を驚かす
烽火三月に連なり
家書万金に抵る
白頭掻けば更に短く
渾て簪に勝へざらんと欲す

【翠岑を下る】

良寛

薪を担ひて翠岑を下る
翠岑の路平らかならず
時に息ふ長松の下
静かに聞く春禽の声



desafiante.net